

(課題名)

持続的安定供給可能な水産資源を活用した医食連携による  
フレイル対策及び栄養介入法の確立と、有用成分を含有する  
次世代機能性水産資源のリスト化を通じた国内水産業活性化への寄与

**1 代表機関・研究統括者**

愛媛大学大学院 農学研究科生命機能学専攻 教授 岸田 太郎

**2 研究期間：令和4年度～令和7年度（4年間）**

**3 研究目的**

臨床による実証データを伴う筋肥大効果を持つフレイル予防・対策  
栄養介入法の確立と、機能性ペプチド特定とメカニズム解明による研  
究の信頼性向上、並びに、筋肥大効果を持つ新規魚種の特定。

**4 研究内容及び実施体制**

① **フレイル、入院時機能障害に対する有用性、および、介入方法確立**  
臨床試験（プレ、大規模）による有用性評価。臨床のビックデータ  
からの適用条件の設定。栄養介入法の考案。

（日本水産㈱、関西医科大学 医、愛媛大学 医、横浜薬科大学 薬）

② **筋肥大効果を持つ魚種の拡大**

スケソウダラタンパク質（APP）加水分解物の筋肥大機能性ペプチ  
ドの特定。APP 作用メカニズム解明。筋肥大効果を持つ新魚種の特定。  
（愛媛大学 農、宇都宮大学 農、北海道大学 水、愛媛大学 医、東京大学 農、日本大学 生）

**5 最終目標**

大規模臨床によるフレイル、入院時機能障害に対する有用性の確定と  
健康状態別の栄養介入法の確定。APP および機能性ペプチドの作用メカ  
ニズムの特定。筋肥大効果を有する新魚種のリスト化。

**6 期待される効果・貢献**

医療現場での APP を活用した栄養介入法の社会実装（市場規模10  
0億円）。新魚種のビジネススキーム、加工法の開発、臨床評価を行い、  
次なる素材の社会実装から、市場価格や供給量の安定化。

04013B2 (課題名) 持続的安定供給可能な水産資源を活用した医食連携によるフレイル対策及び栄養介入法の確立と、有用成分を含有する次世代機能性水産資源のリスト化を通じた国内水産業活性化への寄与

